

山弓連平成28年5月

(平成28年度 第1号)

これからの動き

会長 天野 裕

平成28年度を会員の皆様には新たな抱負を持って迎えられたでしょうか。日頃惰性で動きがちな私達に年度の切り替えは気持ちの切り替えや新しい決意をさせてくれる好機でもあります。任期前半をお支え下さった会員の皆様に執行部一同感謝とお礼を申し上げ、任期後半の本年へのご支援ご協力をお願い申し上げる次第です。

さて、本年は第71回国民体育大会関東ブロック大会を山梨県が主管することになりました。弓道競技は柔道競技と同日同会場で開催されます。8月20～21日の両日に会場を分け合い時間差で会議室を使用することになります。両大会が円滑にそして快適に行われるためには競技に携わる方々全員の互いへの配慮が求められます。本県選手団の決定は5月末になりますが地の利を生かしていただき存分な活躍を期待致します。

なお、平成29年度の第72回国民体育大会(愛媛)は9月9～12日に開催され、全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ/宮城県)の弓道競技の日程が8月1～4日となります。そこで来年の関東ブロック大会(群馬県)は7月8～9日に行われる予定です。これにより、各県とも選手強化や選手最終決定の日程が大幅に早くなるを得ません。

また、来年から全日本(男子・女子)選手権大会は従前行われていたように、全国各ブロックで予選を経て代表を決めることとなります。関東からは代表10名と各地連から推薦された13名を加え計23名が参加でき、山梨からの推薦枠は男女各1名となります。参加者の総枠は全国男女各110名で現行通りです。

全日本弓道連盟は公益財団法人になって

以来、様々な機構改革や事業内容の改善に取り組んできましたが、違法取引な矢羽根の最終決着はもう少し先になりそうです。そして今後の錬士の審査には矢羽根に関する質問が出題される予定です。また、七段審査では一次合格者は以後一年間一回限り一次審査を受けずに二次審査に望めるようになりました。この4月から施行される新しい審査規程や競技規則には「試行」の冠がついてはいるが、より良き方向を模索している努力が感じられます。山弓連の諸行事も新しいルールに従って「試行」する必要があります。

山弓連昨年度全会員は395名で、称号受有者70名中、六十歳以上が50名とかなり高齢化しております。ある統計によると初心者の高齢化も進んでおり四十歳台で始める方、退職してから初めて弓を手にする人などが増加しているようです。これまで会員数の減少に歯止めを掛けようと若い世代には高校生を対象に3年生・社会人交流大会、国体選手壮行交流社会を実施し、一般社会人を対象に弓道教室を開いてきましたが、お陰様でこの3月末の会費納入会員数はここ数年で初めて400名を僅かながら超えました。各支部での弓道教室等を通して粘り強い普及活動が何より効果的かと思えます。己の技量向上や人格形成に精進すると同時に一人でも多く同好の弓人が集まるような連盟でありたいものです。

全日本勤労者選手権大会県予選

ニューフェース登場で緊張感

4月10日小瀬武道館で行われた標記予選会に新鋭2チームが登場 予選会が盛り上がった。

東日本大震災以後 東京電力の対外試合全面撤退で県予選会は横河電機、日立 AMS 2チームの指定席確認の傾向にあったが新チームの参加で予断を許さぬ展開となった。4つ矢2回の計8射合計で争われ1回戦終了時では3チームが1本差の接戦となり、最後は実績のある2チームが全国大会出場権を獲得した。

予選通過2チームはここ数年全国大会でも予選通過の実績があり今年こそ入賞を期待して朗報を待ちたい。

予選結果は下記通り

1 チーム3人×8射=24射

1・日立AMS14中 2・横河電機甲府A13中

3・ファナック10中 4・松下製作所9中

5・横河電機甲府B 6中

上位2チームが全国大会出場 (古屋副会長)

全国ねんりんびっく県予選

平成28年4月10日(日)小瀬弓道場

第29回全国健康福祉祭ながさき大会

山梨県代表選手(弓道競技)平成28年度

区分	氏名	段位
選手兼監督	佐野 辰巳	教七
選手	雨宮 哲	五段
選手	渡邊 優	なし
選手	柳本 武彦	錬五
選手	箕輪とも子	二段
補欠	渡辺 昇	参段
補欠	小林 睦美	錬五
予備	菱山 忠夫	教六

段位別大会・兼全日本・関東選抜1次予選

平成28年4月17日(日)小瀬武道館弓道場

新年度を迎え山弓連の会員の誰でもが参加できる最大規模の段位別大会が大勢の参加者を得て開催されました。半分以上の成績をあげて、6月の二次予選に出場にと意気込みをかけて大会は進行された。

大会結果

射数4矢2回 計8射

三段以下の部

申込人数 55名 参加者数 52名

順位	氏名	支部名	段位	的中	競射結果
優勝	内藤良太	南アルプス	初段	7	○
2位	大須賀達也	甲府	三段	7	×
3位	鷹尾伏亮	上野原	初段	7	×

2, 3位遠近競射

四段の部

申込人数 15名 参加者数 14名

順位	氏名	支部名	段位	的中	競射結果
優勝	鮫島誠一	甲府	四段	7	
2位	斎藤勝利	富士吉田	四段	5	
3位	根津里美	笛吹	四段	5	

2, 3位遠近競射

五段の部

申込人数 20名 参加者数 20名

順位	氏名	支部名	段位	的中	競射結果
優勝	長澤和久	南アルプス	五段	8	
2位	桑原 良	富士吉田	五段	7	
3位	神田津由美	大月	五段	6	

称号の部

申込人数 31名 参加者数 29名

順位	氏名	支部名	段位	的中	競射結果
優勝	芦澤茂幸	笛吹	教士六段	7	
2位	京ヶ島俊人	教職	錬士六段	6	
3位	酒井紀夫	都留	錬士五段	6	

2, 3位遠近競射

—余白をかりて—

支部だより「甲府支部」

甲府支部はこの春特別な講習会を実施しました。

一つは和服の袴さばき、を中心とした女子講習会です、華やかな雰囲気の中で、経験年数の浅い会員も参加して難しい袴さばきに挑戦し、なんとか一通りの所作は出来るようになりました。

もう一つは、介添え講習会です、全員が第一第二、射手も経験して、いつでも介添えができるようにとの思いで、一つ一つの動作を確認しながら、皆、足腰の苦痛に耐えながら練習をし、充実した講習会でした。

「編集後記」

新年度を迎え、充実した会報「山弓連」の編集を頑張りたいと思っています、記事の欠乏に悩んでいます、専門部を始め各支部と、高校弓道部などからも記事の寄稿をお待ちしております。(新藤)

